

No.	研究してほしいテーマ	現状と課題	大学が行う研究から期待される効果等	分野	掲載日	要望元	進捗	備考
001	外国人への防災支援	大規模災害が全国各地で毎年発生している中で、災害から命を守るためには、自助・共助・公助がそれぞれの役割を果たし、連携していくことが大切です。ほとんどの行政区で自主防災組織を設立し、毎年の訓練等を通じて防災意識、知識の向上を図り、地域防災力の充実・強化に努めている。 今後は、市民の防災意識を高めるため、現在市民へ配布しています防災ハンドブックの見直しを行い、市民にわかりやすいハンドブックを作成し、各家庭へ配布を計画しているが、近年、糸島市においては、外国人の転入や観光客が増加しており、外国人に対する防災支援が課題となっている。 また、今後は九州大学国際村構想もあり、ますます重要な課題となってくると考えられる。	外国人のための防災ハンドブックの作成や、ホームページ等による情報の提供など、外国人を対象とした防災支援の強化	防災対策	18/02/10	行政	未	
002	高齢者のSNS利用をもっと活発化させ、高齢者の学びと活躍を支援する環境づくり	現在のSNS(Facebook, Twitter...)を利用するには、高齢者にとっては、「個人情報の流出リスク」「犯罪に巻き込まれる不安」等のデメリット情報のみが気になって手を出しにくいのが現状だと考える。 そこで、全世界の不特定者を対象としたものではなく、例えば糸島市民のみ、糸島市の高齢者のみ等のように地域を限定してセキュリティをあまり気にしなくてもいいSNSを作ることではないか。 このSNS地域版を利用して、SNSはどんなものかとか、SNSの功罪を理解することによりSNSに対するアレルギーを取り除き、市民の特に高齢者の学びと活躍を支援してほしい。	今まで大学に蓄積されている高齢者に関するデータの分析により、糸島市の高齢者のITアレルギーを緩和し、高齢者の経験からくる福祉に関するアイデアなどを地域コミュニティ内で発揮させ、高齢者でも住みやすい街づくりを目指した官学協同のシステム作り	生涯学習の推進	18/02/19	市民個人	未	
003	糸島市海岸保全と観光地としての研究	海岸のゴミ問題と観光客の受け入れ態勢（漂着ゴミが多すぎる、ボランティアだけでは対処できていない、路駐） ①漂着ゴミ：外国からのポリタンク（劇薬）などの対処 ②一般ゴミ：ポイ捨てなどの対処 ③観光客が海岸へ行っても駐車場がないため路上駐車 海岸浸食 年々、海岸浸食がひどくなっているが、県や市などからの情報が全くないため将来が心配。このままでは糸島市から美しい砂浜が消えるのではないかと心配している（特に野芥～芥屋にかけては浜崖が酷い）	1. 海岸のゴミ問題と観光客受入態勢（ゴミの削減方法と生態系への影響） ①漂着ゴミ ゴミの種類で正しい廃棄方法の研究、生態系への影響 ②一般ゴミ どのような方法でポイ捨てをなくすかの検討（啓発活動） ③適切な駐車場の整備に向けての検討 2. 海岸浸食 ①現状の糸島市内の海岸の健康診断 どの程度ひどいのか。対処方法はあるのか。 なにをやったらいいのか。 ②高波による震災の影響などの研究	環境対策	18/02/27	市民個人	未	
004	魯迅と鎌田兄弟に係る研究による学術的意義付け	中国において「中国の母」とも称される文学者・思想家である魯迅。 鎌田誠一（志摩御末出身・糸島中学第1期生）は魯迅の命の恩人として、また大切な日本の友人として、現代の中国国内においても一定の評価を受けている。一方で、日本国内や糸島市内においては、鎌田誠一についてほとんど知られていないのが現状である。 それは、糸島の明治～現代における歴史的研究が進んでいないことが起因している。 早急な資料整理や学術的な意義付けによって「埋もれた地域資源」である魯迅と鎌田誠一との関係に光を当て、忠実として記録するとともに、広く市民に周知することが望まれる。	中国及び日本国内に残されている書籍等から、鎌田誠一とその兄（寿）の上海における魯迅との生活の軌跡を明らかにし、学術的側面からその意義付けを行なうことで、日本国内でも鎌田兄弟について一定の評価がされることになる。 これにより、中国における魯迅研究者との交流が図られ、より一層、彼らの果たした役割の重要性が高まること期待される。 併せて、鎌田誠一の母校・糸島高等学校における公開講座の実施、資料展示の充実によって、糸島の近現代史発信拠点とし、在学生や同窓生をはじめ、市民が郷土への誇りを再認識する機会となり得る。	歴史・文化の継承	18/03/05	市民個人	未	

No.	研究してほしいテーマ	現状と課題	大学が行う研究から期待される効果等	分野	掲載日	要望元	進捗	備考
005	主観的糸島生活幸福度の指標設定	<p>糸島市は、移住先として全国的にも注目され、人口も増加している。一方で「子育てにいい都市」の測定指標は「医療機関数」「合計特殊出生率」「公園の数」等で算出されるものもあり、指標によっては糸島は評価が低くなることもある。</p> <p>外部が定めた一般的なものではない、糸島で暮らす生活者としての主観的な幸福度を「指標化」する。(例：公園の数は少ないが、海や山、川があり、子どもを遊ばせる場所は多い。近所の人から新鮮な野菜をもらう。畑が近くにあるので子どもたちが旬を理解できている 等)</p> <p>それにより、糸島市民自身が感じている「糸島の強み」を世代ごと、地域ごとに整理し、行政や行政区の地域づくりの戦略に生かしていく。</p> <p>幸福になるのは市民自身であり、行政はそれをアシストする存在である。市民や団体が、自分自身や身近な人、さらには地域の幸福を考え、それぞれができることを考え、幸福度を向上させる行動のための目安ともなればよい。</p>	<p>①AIを活用し、SNS (Facebook、twitter、インスタグラムなど) に投稿された糸島の暮らしに関わる発言を抽出する。発言の内容におけるネガティブ・ポジティブの度合いを数値化し、糸島における幸福度指数を算出する。</p> <p>②AIにより算出された「糸島市幸福度指数」の指標を使って、糸島に暮らす方々のライフストーリー分析を行う。インタビューである個人の生活を聞き出し、幸福度について質的分析を行う。インタビューの際、AIにより感情分析も同時に行う。</p> <p>③①②を統合して、糸島における主観的幸福度の指標を作成する。</p>	安全安心のまちづくり	18/03/09	市民個人	対応中	
006	魚離れによる水産物の消費量の低迷解消	<p>食の多様化により魚離れが進行し、魚介類の消費量が低迷している。魚介類には体に良い栄養素が豊富に含まれている。魚介類が持つ栄養素の分析データを活用し、消費者が摂取すべき魚介類を判断するためのシステムを構築いただき、地域内での魚介類の消費拡大を図りたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 摂取する魚介類を糸島産のものを選択できるようにすることにより、地産地消への寄与も期待できる。また、健康増進への寄与も期待できる。</li> <li>・ 糸島で水揚げされる地魚に含まれる抗酸化物質を研究し、レシピ提供等を行うことで水産物の消費拡大につなげたい。</li> <li>・ 蓄養（養殖）している水産物（姫サバ、カキ、赤ウニなど）の資料などを研究することで、抗酸化物質を多く含む物の水産物の開発がしてほしい。</li> </ul>	農林水産業の振興	18/06/01	行政	未	
007	柑橘農家を苦しめるモグラの対策について	<p>市内にある柑橘について、モグラの被害が多発している。被害は、柑橘の果樹の根が引っ掻かれ、生育が阻害されている。モグラに対する知識がないので、適切な対処法を確立したい。</p>	<p>モグラの分布する場所を把握し果樹に悪影響を及ぼさない、正しいモグラ対策を示してほしい。 (果樹だけでなく、畑の被害を未然に防げる。)</p>	農林水産業の振興	18/07/26	行政	未	
008	人口減少時代における戦略的な人口減少対策	<p>日本全体の人口が減っていく中で、今後どのように人口減少対策を誘導し、将来にわたって健全で安定的な市民生活の確保や、そのための行政運営について、解決の糸口を提示してほしい。</p> <p>〔考えられる要因〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本全体の人口減少。</li> <li>・ 人口減少地域においては、市街地に比べて日常生活の利便性（通勤・通学、買い物、娯楽）が低いこと。</li> <li>・ 人口減少地域は、都市計画による市街化調整区域が多くを占めていること。</li> <li>・ 市内に進学場所や働く場所が少ないこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 住基人口の異動状況の追跡、過去の市民満足度調査の比較、地域（行政区）毎の定着率、市内の人口移動の分析などにより、何かしらの法則が見いだせし、課題解決の糸口をつかむ。</li> <li>・ 市内の均衡ある発展により、地域コミュニティや産業が維持され、自然・歴史・伝統文化を次世代に引き継いでいくことができる。</li> </ul>	その他	18/09/14	行政	未	
009	魚価低迷による漁家所得低下の防止対策	<p>漁家所得低迷が漁業従業者の高齢化や後継者不足の一因になっており、最適な出荷先や出荷時期、出荷方法などを判断するためのシステムを構築し、漁家所得向上につなげたい。</p>	<p>効果的な出荷先や出荷時期、出荷方法を判断するためのシステムを構築していただきたい。</p>	農林水産業の振興	18/09/14	行政	未	

No.	研究してほしいテーマ	現状と課題	大学が行う研究から期待される効果等	分野	掲載日	要望元	進捗	備考
010	効果的な観光PR（観光客のニーズに合った観光ルートの提案）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リピーター率が高い（75%）ものの、周遊性が低く（周遊なし40%）、滞在時間が短い傾向にある。</li> <li>・市内周遊性を高め、滞在時間を延ばすことで、観光消費額を増やすため、観光スポットのPRやおすすめルートの提案も行っている。</li> <li>・観光客のニーズが多様化しており、各観光客に合った周遊ルートの提案が難しい状況にある。</li> </ul>	必要最小限の情報（年齢、性別など）を提供してもらうことで、おすすめの観光ルートを提案できるような仕組みを構築してほしい。	その他	18/09/14	行政	未	
011	メタン発酵消化液を液肥利用した場合のジャンボタニシへの影響	<p>田植え後、ジャンボタニシは稲の苗を食べ、田んぼが虫食い状になり、収穫量に大きな被害を与えている。</p> <p>一方で、ジャンボタニシはアルカリ性に弱く、アルカリ性が強い田んぼでは、活動も弱まるという説もある。</p> <p>そこで、畜産糞尿を原料としたメタン発酵消化液を液肥として利用した場合、ジャンボタニシの活動が弱まるかどうかの調査をお願いしたい。</p>	実証に基づく、液肥のジャンボタニシに及ぼす活動抑制効果。	環境対策	18/11/09	行政	未	